

インターネット モニタリング



島根県の取組

島根県環境生活部人権同和対策課

SNSをはじめとするインターネットが普及する一方で、その匿名性、情報発信の容易さから個人の名譽を侵害したり、差別を助長する表現等の書き込みが後を絶たない状況にあることから、島根県では、一昨年から人権同和対策課職員によるインターネットモニタリングを実施しています。

昨年8月全国的に新型コロナウイルス感染症の感染状況が拡大する中、島根県内の私立高校でクラスターが発生した際には、ネット上で心ない誹謗中傷の投稿が相次ぎ、瞬く間に拡散していったことから、モニタリング実施職員を増員して監視を行い、その結果、人権侵害につながるおそれのある重大な投稿を検知し、法務局へ通報するとともに、削除の要請を行うこととなりました。

また、今回の事案発生・対応状況を踏まえ、モニタリング強化を一層図ることが今後の課題となったことから、市町村とも協力・連携の上取り組んでいく必要があり、そのために人権施策の推進に携わる者として必要な知識とスキルの修得を目的として、市町村職員を対象にインターネット

モニタリング研修を実施しました。

(公財) 反差別・人権研究所みえ中村尚生調査・研究員を講師に迎え、10月20日(火)出雲台庁、21日(水)益田台庁において「インターネット上の差別事象に関する現状」、「差別的書き込みへの対処方法」について、パソコンを使用した実践的な内容としたこともあり、投稿サイトの特性を実際に知ることなど理解を深める良い機会となりました。

今後、モニタリングの取組が市町村でも広がっていくことを大いに期待しています。

インターネットは私たちの生活に欠くことのできない便利なツールですが、反面、使い方を誤ると人を傷つける凶器になってしまいます。

県民一人ひとりが、人権擁護の視点にたった正しい知識を身につけ、情報の収集・発信面での個人の責任や守るべきことなどの理解を深められるよう、今後も様々な機会を通じて啓発を推進していきます。

2020年
10.20
出雲会場



2020年
10.21
益田会場



開催報告

ハンセン病問題を考える つどい(法務省委託事業)

講師 田村 朋久さん
長島愛生園歴史館主任学芸員

10月5日(月)に松江市の島根県民会館で田村朋久さんを講師に「人権が尊重される社会のために～ハンセン病問題から学ぶ～」と題した講演会を開催しました。



ハンセン病問題については、かつて採られた施設入所政策の下で、患者・元患者のみならず、その家族に対しても社会において極めて厳しい偏見や差別が存在し、「らい予防法」廃止後も、偏見や差別は根強く残っており、一人ひとりがこの歴史を振り返り、過去の反省に立ち、偏見・差別解消へ取組むことが求められています。

講演では、ハンセン病についての正しい医学的知識、国の政策と市民の意識の変遷、誤解と偏見等を長島愛生園のお話しも交えながらとてもわかりやすく語られました。

聴講された方から、「ハンセン病問題は今般の新型コロナや様々な人権問題につながるものがあると感じた。」「ハンセン病のことに限らず正しい知識を持つために、学び続けなければならない。」「偏見や差別のない社会になることを願うとともに自分にできることは何かを考えていきたい。」「人権に関する感覚やセンスを磨き続けることはいつでも必要で大切なこと。」などの感想が寄せられました。

人権を考える県民のつどい

同時開催

第6回浜田市人権尊重のまちづくり推進大会
島根県同和教育推進協議会連合会第125回研究集会

講師 湯浅 誠さん
社会活動家/東京大学先端科学技術研究センター特任教授
全国子ども食堂支援センター・むすびえ理事長

11月15日(日)に浜田市の石炭文化ホールで湯浅誠さんを講師に「コロナでわかった「居場所」の価値と意義～子ども食堂の実践から考える～」と題した講演会を開催しました。



「子ども食堂」とは食事を摂るだけではなく、子どもを中心にした地域交流・世代間交流の場であるということ、「新しい生活様式」や「災害に強い地域づくり」のために地域のつながりを今一度考えてみる大切さなど具体例を交え示唆に富むお話しをしていただきました。

聴講された方から、「子ども食堂について間違っていたイメージを持っていたことに気づかされ、みんなの居場所になる場所だと知ることができた。」「子ども食堂が食事をツールとして地域のつながりを生み、生きやすい地域づくりに貢献していることがよくわかった。」「つながりのある地域づくりのために自分にできることをやっていきたい。」「平時のつながりが非常時のセーフティネットとして機能することなど興味深かった。」などの感想が寄せられました。

人権週間啓発イベント

～「誰か」のことじゃない。～

令和2年度 島根県人権啓発ポスターコンクール表彰式
令和2年度 島根県中学生人権作文コンテスト表彰式

12月6日(日)に松江市のイオンショッピングセンターで人権週間啓発イベントを開催しました。例年開催している人権フェスティバルは新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催できませんでしたが、人権啓発ポスターと人権作文の最優秀賞の表彰式や、人権をテーマとしたよしとさんの紙芝居ステージを行いました。このイベントを通して、参加されたみなさんに「人権」について改めて考えていただきました。

